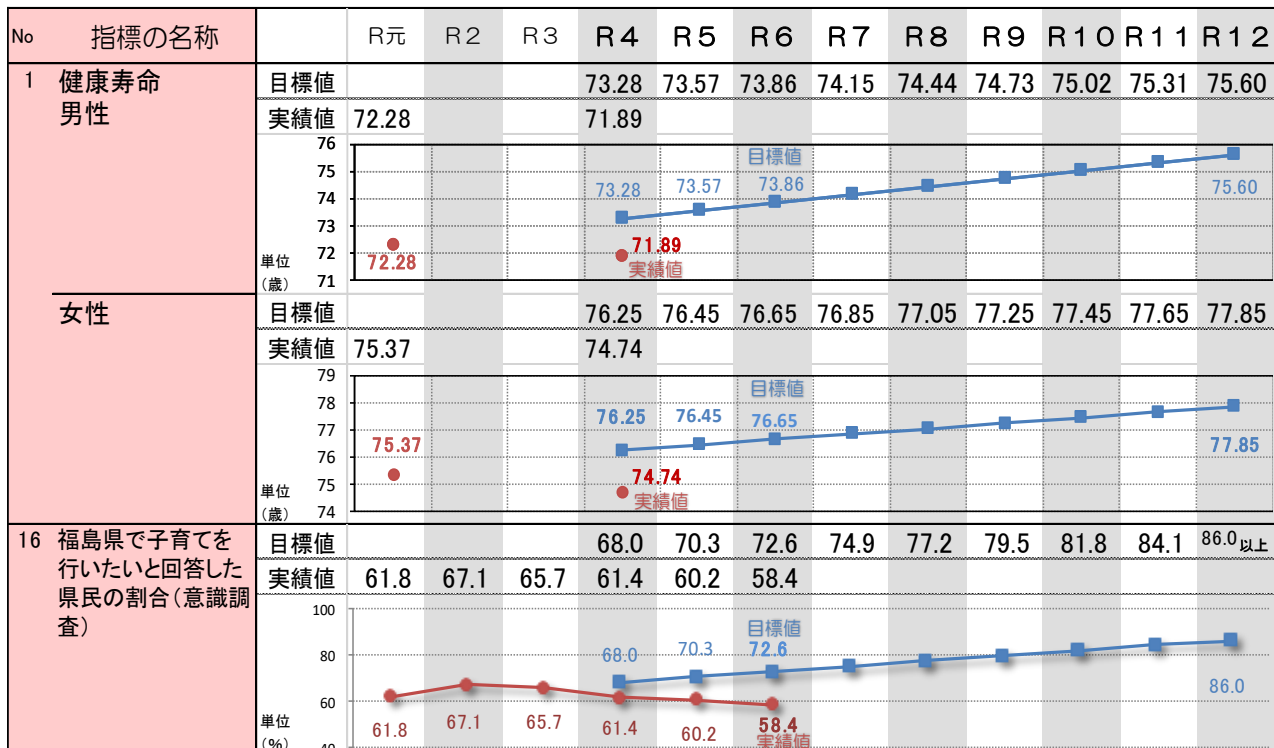


県北地域の
目指す
方向性

豊かな自然や都市機能、交通インフラをいかし、地域経済を支える産業の振興や多彩な交流を通じた地域活性化を図るとともに、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めます。

主要施策 1 「誰もが安心していきいきと暮らせる環境づくり」

- ①・妊婦や子育て世代の相談対応
 - ・子育て世代包括支援センター（R6. 4月より「子ども家庭センター」）の機能充実等
- ②・ふくしま県 GAP（FGAP）の推進、ふくしま HACCP の導入促進
 - ・県北地方ならではのブランド力の強化
- ③・悩みを持つ児童や生徒の相談に対する専門家による支援
 - ・障がいのある子どもたちが安心して学べる環境の充実
- ④・バランスの良い食生活、適度な運動、検診受診の普及啓発
 - ・地域や職場等での健康づくりの推進
- ⑤・保健・医療・福祉の教育カリキュラムの策定、効率的な教育体制の構築



【市町村妊娠出産包括支援推進事業】：①

○【目的】市町村が設置するこども家庭センターの機能充実と妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の構築

●【アウトプット】関係機関の情報交換会

市町村への訪問によるヒアリング 年2回

母子保健連絡調整会議 年2回開催

◎【成果・効果】令和7年4月1日現在、県北8市町村のうち7市町村でこども家庭センターを設置。

その他1市町村でも令和7年度中に設置を予定しており、センターの運営状況確認や会議開催時期の見直しをしながら継続していく。

【ふくしまHACCP導入推進事業】：②

○【目的】食品の安全性の確保・県産加工食品の風評払拭

●【アウトプット】実習型研修会 8回（R6 R5比3回増）

受講者数 36名（R6 R5比9名減）

◎【成果・方向性】HACCPに対する理解が得られ導入率

向上につながった。未導入施設だけでなく、導入済施設に対して適切な運用等に関する指導助言を行う。



ふくしまHACCPロゴマーク

【「個別の教育支援計画」の作成と活用の促進事業】：③

○【目的】障がいのある児童生徒のニーズ把握・長期的な視点で一貫した教育的支援を行う

●【アウトプット】個別の教育支援計画の引継ぎ活用率：85.0%

特別支援学級：90.7%

通級による指導：85.1%

通常の学級：76.1%

◎【成果・方向性】乳幼児期から学校卒業まで切れ目のない

支援と学びが繋がらない現状があることから、通常の学級の児童生徒を中心に、より一層の引継ぎ活用に取り組むことを促していく必要がある。



【地域保健・職域保健連携による生活習慣病予防対策推進事業】：④

○【目的】生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備

●【アウトプット】・県北地域保健・職域保健連携推進連絡会開催（2回）

・働きざかりの健康づくり研修会（ZOOM開催）

参加者：19名

・健康経営、働きざかりの健康づくりに関する情報発信

・職場の受動喫煙防止対策及び健康環境づくりのための普及啓発

◎【成果・方向性】重点スローガンである禁煙について、研修会テーマとして設定し、健康づくりの取組推進を促した。今後は、研修会を健康経営フォローアップ事業として位置づけ、県北地域保健・職域保健連携推進連絡会議の構成機関と連携を図りながら実施する。

【食習慣・肥満等の健康教育に係る専門家派遣事業】：⑤

○【目的】健康課題の解決や健康教育の充実

●【アウトプット】医師等の専門家派遣

小学校6校、特別支援学校1校

◎【成果・方向性】肥満傾向児の出現率は、男女とも全国平均より高いことから、引き続き事業を推進。

その他の主な取組

- ・ひとり親相談①
- ・子ども健やか訪問事業①
- ・第三者認証GAP等取得促進事業②
- ・「ふくしまプライド。」県産農林水産物販売力強化支援事業②
- ・スクールソーシャルワーカー派遣事業③
- ・特別障害者手当等給付事業③
- ・障がい児（者）地域療育等支援事業③
- ・誰一人取り残さない教育体制事業「地域支援体制事業」③
- ・ふくしまおいしく減塩緊急対策事業④
- ・歯周病予防推進事業⑤
- ・スクールカウンセラー派遣事業③
- ・健康経営トータルサポート事業④
- ・食生活改善推進員育成支援⑤
- ・新医師臨床研修・学生実習等⑤

主要施策2「多彩な交流を通じた地域の活性化」

①・県北地方の文化や歴史などの「誇り」に光を当て、地域を元気にする住民主役の個性と魅力ある地域づくりを支援

②・ライフスタイルの多様化等を踏まえた移住・定住の推進

- ・交通アクセスの優位性を踏まえた地域間交流による関係人口の拡大
- ・小、中、高での県北地方の歴史・文化等の理解促進、地域コミュニティを担う人材育成
- ・SNS や動画による四季を通じた魅力の発信
- ・農作物の収穫などの体験メニューの充実、着地型観光の推進
- ・外国人誘客の促進

No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																																					
277	移住者数 (R6.3月見直しによる指標の追加)	目標値					3,000	3,214	3,429	3,643	3,857	4,071	4,286	4,500																																					
		実績値				2,832	3,419	(R6実績はR8.6月頃に公表予定)																																											
		<table border="1"><caption>移住者数 (単位: 人)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R4</td><td></td><td>2,832</td></tr><tr><td>R5</td><td>3,000</td><td>3,419</td></tr><tr><td>R6</td><td>3,214</td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td>3,429</td><td></td></tr><tr><td>R8</td><td>3,643</td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td>3,857</td><td></td></tr><tr><td>R10</td><td>4,071</td><td></td></tr><tr><td>R11</td><td>4,286</td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>4,500</td><td></td></tr></tbody></table>													年度	目標値	実績値	R4		2,832	R5	3,000	3,419	R6	3,214		R7	3,429		R8	3,643		R9	3,857		R10	4,071		R11	4,286		R12	4,500								
年度	目標値	実績値																																																	
R4		2,832																																																	
R5	3,000	3,419																																																	
R6	3,214																																																		
R7	3,429																																																		
R8	3,643																																																		
R9	3,857																																																		
R10	4,071																																																		
R11	4,286																																																		
R12	4,500																																																		
100	観光客入込数	目標値				42,000	47,000	52,000	57,000	57,600	58,200	58,800	59,400	60,000																																					
		実績値	56,344	36,191	35,454	47,687	53,923	(R6実績はR7.8月頃に公表予定)																																											
		<table border="1"><caption>観光客入込数 (単位: 千人)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td></td><td>56,344</td></tr><tr><td>R2</td><td></td><td>36,191</td></tr><tr><td>R3</td><td></td><td>35,454</td></tr><tr><td>R4</td><td>42,000</td><td>47,687</td></tr><tr><td>R5</td><td>47,000</td><td>53,923</td></tr><tr><td>R6</td><td>52,000</td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td>57,000</td><td></td></tr><tr><td>R8</td><td>57,600</td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td>58,200</td><td></td></tr><tr><td>R10</td><td>58,800</td><td></td></tr><tr><td>R11</td><td>59,400</td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>60,000</td><td></td></tr></tbody></table>													年度	目標値	実績値	R1		56,344	R2		36,191	R3		35,454	R4	42,000	47,687	R5	47,000	53,923	R6	52,000		R7	57,000		R8	57,600		R9	58,200		R10	58,800		R11	59,400		R12
年度	目標値	実績値																																																	
R1		56,344																																																	
R2		36,191																																																	
R3		35,454																																																	
R4	42,000	47,687																																																	
R5	47,000	53,923																																																	
R6	52,000																																																		
R7	57,000																																																		
R8	57,600																																																		
R9	58,200																																																		
R10	58,800																																																		
R11	59,400																																																		
R12	60,000																																																		

【地域創生総合支援事業（サポート事業）】：①

○【目的】県民が主役となり個性と魅力ある地域づくりを推進

●【アウトプット】民間団体や市町村等が行う地域振興の取組を支援

- ・補助件数 27 事業
- ・実績額 75,153 千円

◎【成果・方向性】地域の課題を踏まえ、地域の特性をいかしながら地方創生に寄与する取組を支援し、県北地域の振興につながった。

引き続き、地域振興の取組を支援するとともに、事業周知の情報発信を強化していく。

アウトカム：サポート事業（一般枠）の採択件数 2,055 件（県内累計）



サポート事業を活用したイベント

【定住支援（地域との関係づくり）事業】：②

○【目的】地域の人や団体とつながりを持ち、地域への愛着を深め、定住を支援

●【アウトプット】・ワークショップ 福島市：5 回延べ 44 名、国見町：1 回延べ 9 名

- ・フィールドワーク（伊達市、本宮市）伊達市：28 名、本宮市：8 名
- ・地域コミュニティの見える化、橋渡し（5 団体）

「かわまたまちラボ」、「和寿楽」、「おりをり」、「じょぎんぐ@ふくしま」、
「GoodDay 田畑部」

◎【成果・方向性】ワークショップを参加者固定の連続と単発の 2 パターンで実施し、多くの参加につながった。地域コミュニティと移住者等の橋渡しをすることで、移住者等が気軽に参加できる団体を知る機会につながった。

アウトカム：移住者数 566 人（県北） ※R5 年度実績値

【広域的連携による交流イベントの実施】：②

○【目的】隣接他県と連携し、近隣観光（マイクロツーリズム）の需要取り込みを図る。

●【アウトプット】観光や特産品等をPRする交流イベントを実施

・令和6年11月3日（日）※11月2日は荒天のため中止道の駅ふくしま

・来場者数：5,875名



交流イベント「つながるフェスタ」

◎【成果・加性】1日当たりの来場者数が昨年度を上回り、

交流人口の拡大につながった。出展者として地域の高校生にも参加してもらうことで、若い世代が地域とのつながりをもつ機会を創出できた。

アウトカム：県北管内観光客入込数 15,366千人 ※R5年度実績値

【親子で体験！里山の魅力ふれあいプロジェクト】①

○【目的】若い世代に過疎・中山間地域への愛着形成を図る

●【アウトプット】・養蚕に関する講話、繭の糸取り体験（本宮市）

※台風接近に伴い、中止。代替措置として体験キット送付

・上川崎和紙に関する講話や紙絵の制作体験（二本松市）

参加者：親子8組（20名）

・ブドウ畑の見学、収穫体験（伊達市）

参加者12組（37名）



上川崎和紙を使ったワークショップ

◎【成果・加性】ワークショップを通して、子ども達の地域の魅力への気付きや地域への愛着の形成につなげることができた。

【来て、見て、体験する農家民宿魅力発信事業】：②

○【目的】農村地域における関係人口等の拡大や農業・農村の活性化

●【アウトプット】人とのふれあいを「売り」とした農家民宿等の魅力を掲載したパンフレットを作成。

◎【成果・加性】農家民宿の年間を通じた体験メニューや提供する料理等をパンフレットとWEBで広く発信し、農家民宿の活性化につながった。

さらに、教育旅行の受け皿として農家民宿を活用していくため交流会等を開催し農家民宿間の連携の強化を図る。



パンフレット

【県北地方の魅力発信事業】：②

○【目的】リアルな情報発信と交流人口の拡大や県内宿泊者の増加。

●【アウトプット】季節や自然、温泉などのテーマ別モデルコースを掲載した観光パンフレットを作成。（11,000部 うち翻訳版1,000部）

◎【成果・加性】県北地方の魅力を広く発信できた。また、翻訳版によりPR対象を広げることができた。市町村や住民参画の下、引き続き魅力を発信し、管内の周遊性を高める。

その他の主な取組

- ・移住コーディネーターによる移住相談対応等②
- ・移住相談会、移住セミナー等の開催②
- ・地域学校協働本部事業（地域学校協働活動の部・放課後こども教室の部）②
- ・道徳教育総合支援事業（ピュアハートサポートプロジェクト事業）②
- ・SNS等による情報発信②
- ・県北教育機関と連携した情報発信事業②

主要施策3「地域経済を支える産業の振興、人材の育成・確保」

- ①・輸送用機械・情報通信用機械産業に加え、再生可能エネルギー、医療関連産業やロボット関連産業等の企業誘致、人材育成の推進
 - ・管内企業の働きやすい職場の実現を促進、県外転出者の多い女性や若者の定着・還流による人材確保
- ②・小学校段階からの継続的なキャリア教育の推進
 - ・県立高校における職業観や進路意識の醸成
 - ・地域で働くことの魅力の発信、地元への就職促進
- ③・新規就農者の技術習得、農地確保等への地域全体の支援体制づくり
 - ・先端技術導入による生産拡大、6次化推進などによる所得の向上
 - ・遊休農地の解消や防護柵の設置など、鳥獣被害防止対策の推進
- ④・経営者へのセミナー等を通じた創業・事業承継の促進
 - ・空き店舗を活用した起業支援等による商店街の活性化、地域の魅力向上

No	指標の名称		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
233	新規就農者数	目標値				240	260	370	375	380	385	390	395	400
		実績値	212	204	233	334	367	322						
260	新規高卒者の県内就職率	目標値				82.0	82.05	82.1	82.15	82.2	82.25	82.3	82.35	82.4
		実績値	81.9	81.9	82.7	83.7	82.8	81.7						

【イノベ構想と県北地方の人・企業つながりづくり事業】: ①・④

○【目的】地域企業の魅力や県北地方の魅力を発信し、人材育成と若者の定着を図る。地域企業とイノベ機構のつながりを支援し、イノベ構想の波及促進に努める。

●【アウトプット】親子体験バスツアーの実施（全4回86名）

- ・最先端ウェアラブルIoT製品体験コース
- ・水素エネルギー体験コース
- ・空のお仕事体験コース

イノベ機構と商工会等のつながりをつくり、イノベ構想の波及促進のきっかけとするため商工会等訪問を実施

- ・訪問 13件

◎【成果・方向性】イノベ構想のうち認知度の低い分野に

関連した企業など地域企業に対する興味・理解が深まり、県内で働くことを意識したなどの満足度の高い声が多くあった。また、イノベ機構と共に商工会等を訪問し、イノベ構想関連の情報提供や参画に向けたニーズ等の聴き取りを行うことで、イノベ機構から商工会等への企業紹介依頼2件につながるなど、相互の連携が促進された。引き続き管内企業の魅力の発信等に取り組む。

アウトカム：県内に魅力を感じる企業があると回答した県民の割合（県政世論調査）

29.4%（県全体）

福島イノベーション・コースト構想の認知度（県政世論調査）

70.1（県全体）%



親子体験バスツアー（最先端ウェアラブルIoT製品体験）

【超スマート社会を担う産業人材育成事業「専門教育魅力発信応援事業」】：②

○【目的】児童生徒のキャリア教育の推進

●【アウトプット】講師校 福島明成高校、二本松実業高校
体験校 吾妻中学校、二本松南小学校等

◎【成果・方向性】専門高校への憧れを持ち、物作りに対する関心を引き出すことができた。今後は、実施校数を増やし、高校生及び小中学生がそれぞれの体験を通じ、自己実現に向けた意識の向上が図られるよう取り組む。



【県北地方人材確保・働き方支援事業】：②

「ジモトヒカル」の作成・配付

○【目的】高校生に地元中小企業の魅力を伝え、若者の定着を図る。

●【アウトプット】ハンドブック「ジモトヒカル」の作成・配布と掲載企業の紹介動画の配信
・配付部数：4,528部

配布先：高校20校（新高校2年生及びその保護者）等

◎【成果・方向性】卒業後に就職を希望する生徒だけでなく、進学を希望する生徒に対しても将来的な還流を意識した情報発信ができた。引き続き進路に関わらず、全高校生等を対象とした内容とし、更にニーズに沿った掲載内容に充実を図る。

アウトカム：R6年度新規高卒者の県内就職率（県北） 85.6%

【ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業】：③

○【目的】新規就農者の確保・育成・定着

●【アウトプット】就農希望者対象相談会 208件対応

新規就農者を対象とした研修会 8回 延べ114名参加

◎【成果・方向性】引き続き、県北地方新規就農者等確保・育成連携会議や新規就農相談会、新規就農者向け研修会などを開催し、新規就農者の確保育成を図る。また、関係機関と連携し、就農・定着から経営発展まで個々のニーズに合わせたきめ細やかで一貫した支援を展開する。

アウトカム：県北地方の新規就農者 115名（R6県内最多）



新規就農者研修会

【地域の力で進める！鳥獣被害対策事業】：③

○【目的】地域ぐるみで取り組む効果的な鳥獣被害防止対策を支援

●【アウトプット】総合的な対策を実施するモデル集落の設置 1地区
（集落診断、アンケート調査、勉強会の開催等19回）

◎【成果・方向性】県北地方では、福島市が鳥獣被害対策専門職員を配置して対策に取り組んでおり、他市町村でも配置が検討されている。また、モデル集落の取組を支援することで、集落全体で被害対策に取り組む意識の醸成が進んだ。今後は、新たに総合的な被害防止策に取り組むモデル集落を設置し、地域リーダーの育成や意識醸成に努める。

アウトカム：野生鳥獣による農作物の被害額 令和5年度約5,400万円（平成26年度9,900万円）



獣害現地講習会

その他の主な取組

・キャリア教育推進事業②

・普通科における特色あるコース制推進事業②

・次世代育成支援企業認証制度④

・ふくしま型農業DX推進事業③

スマート農業プロセスイノベーション推進事業

GPS活用スマート農業加速化推進事業

スマート農業活用中山間地域等モデル実証事業

・県北で活躍する先輩との進路リアルトーク②

・6次化商品販路拡大事業③



スマート農業プロセスイノベーション推進事業（現地検討会ぶどう）

【浸水想定区域図の作成】：②

○【目的】迅速な避難を促し地域住民が命を守る行動ができるよう、情報発信を強化

●【アウトプット】洪水浸水想定区域図 小規模河川 4 河川を作成

◎【成果・方向性】情報発信の強化が図られるとともに、市町村のハザードマップ作成に向けた基礎資料として供することができた。引き続き小規模河川について、管内 53 河川の区域図を作成し、公表に向け市、町と協議を進める。

【消防団員入団促進事業】：②

○【目的】消防団員の確保

●【アウトプット】市町村、消防団と連携して、管内の 31 事業所に対して要請活動を実施

消防団員入団促進に係る消防庁作成ポスター、リーフレットを管内の事業所（約 500 カ所）等へ配布したほか、イベント出展や公用車利用時において PR 活動を実施

◎【成果・方向性】新たに会議などの参集の機会を活用した要請活動により多くの事業所へ要請することができた。

引き続き、市町村、消防団と連携して、管内事業所等に対する要請活動や広報活動を効果的、効率的に実施する。



要請活動

【土砂災害防止対策事業】：③

○【目的】地震や豪雨等により発生する土砂災害から県民の生命・財産を守る

●【アウトプット】要対策箇所のうち 4 箇所において対策工事のための測量設計を行い、3 箇所の崖崩れ対策工事、1 箇所の土石流対策工事（R6 工事完了）を行った。

◎【成果・方向性】対策事業の推進により、土砂災害から人家が保全された。引き続き 4 箇所の崖崩れ対策工事を進める。

【農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業、ため池整備事業ほか）】：③

○【目的】耐震性の向上、豪雨による決壊の防止、洪水調節機能の付与・増進

●【アウトプット】ため池の改修工事を行っており、令和 6 年度は 2 箇所で工事を実施。（内 1 箇所、荒池地区は完了）

新たに、高谷沼地区で事業着手し実施設計を行った。

◎【成果・方向性】劣化状況調査や地震耐性調査等の結果を踏まえ、優先順位の高いため池について早期の事業着手を進める。



ため池整備事業（荒池地区）

その他の主な取組

- ・ 橋梁耐震補強事業③
- ・ 河川災害関連事業（令和元年台風）③
- ・ 阿武隈川本川の背水対策（令和元年台風）③
- ・ 治山事業③



阿武隈川本川の背水対策（塩野川工区）